



「特別区全国連携プロジェクト」の取り組みについて

東北絆まつり2026盛岡への協力・参加

特別区長会は、特別区と全国各地域がともに発展・成長し、共存共栄を図ることを目的に、産業・観光・文化・スポーツ等様々な分野で、経済の活性化、まちの元気につながるための連携・交流事業を行う取り組みとして、平成26年9月に特別区全国連携プロジェクト（以下「プロジェクト」という。）を立ち上げています。

プロジェクトの一環として、被災地支援にも取り組んでおり、「東北絆まつり」に対しては、東日本大震災からの復興支援とともに、東北6県の自治体との協力・連携関係を強化する趣旨で、平成27年の「東北六魂祭2015秋田」から、開催PRや支援金の提供等の協力を行っています。今年度は、5月23日（土）、24日（日）に盛岡市で開催の「東北絆まつり2026盛岡」に協力・参加しました。



開祭式に登壇した吉住会長、成澤区長、青木区長、森澤区長（写真左より）

初日の開祭式に、吉住健一会長（新宿区長）、成澤廣修文京区長、

青木英二目黒区長、森澤恭子品川区長が登壇し、吉住会長から特別区長会を代表して開催への祝意や被災地復興への願い、自治体間の連携による地域活性化への想い等のあいさつがありました。また、同日に開催されたウェルカムパーティーには、青木目黒区長、山田加奈子北區長が参加し、特別区長会を代表して青木目黒区長があいさつを行いました。



ウェルカムパーティーであいさつをする青木区長（写真右）と壇上の山田区長（同左）

まつりのメイン会場では、「東京23区・特別区長会」のブースを出展し、プロジェクトの取り組みや特別区の魅力を来場された方々に広くPRしました。

ブースでは、パネルの展示や各区のパンフレットの配布、大田区によるPRコーナーの設置、文京区によるオリジナルグッズの物販等により特別区の紹介を行ったところ、訪れてみたい区や興味を持った区のパンフレットを手にする人が多く見られました。その他、特別区協議会のオリジナルキャラクター「とくべつくま[®]」も登場し、幅広い世代から人気を集めました。

ブースは、用意したグッズが全でなくなるほどの盛況ぶりです。2日間約4千人の方が来場されました。



とくべつくま[®]も大人気

来場された方々からは、東京23区が東北の復興支援を継続していることや各地域と観光振興等で連携・協力していることについて質問があり、今後も各取り組みを全国に発信していく必要性を再認識しました。



多くの人でにぎわう特別区PRブース

「東北絆まつり2026盛岡」の来場者数は2日間合計で延30万1千人（東北絆まつり実行委員会発表）でした。

なお、東北絆まつりで一堂に会した6市の祭りは、次表のとおり今夏に開催されます。是非皆様も足を運ばれてはいかがでしょうか。



東北6市6祭のパレード（盛岡さんさ踊り）

特別区長会は、これからも被災地支援をはじめ、プロジェクトを推進・発信し、東京23区と全国各地域がともに発展・成長するよう最大限取り組んでまいります。

※プロジェクトの詳細については、ホームページをご覧ください。

(<https://collabo.tokyo-23city.or.jp/>)

（特別区長会事務局）

各市の祭り	日程
青森 ねぶた祭	8月2日（日）～7日（金）
秋田 竿燈まつり	8月3日（月）～6日（木）
盛岡 さんさ踊り	8月1日（土）～4日（火）
山形 花笠まつり	8月5日（水）～7日（金）
仙台 七夕まつり	8月6日（木）～8日（土）
福島 わらじまつり	8月7日（金）～9日（日）